

「ユニーク」な事業一覧

II. 事業について

Q1 貴公民館が主催する事業のうち、ユニークだと思われる事業を3つおこたえください。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
1	今帰仁村中央公民館	ブーゲンビリア育成教室	身近な植物として親しまれているブーゲンビリアの育て方を学ぶ	20人		植物に触れ、栽培するところ。
		中国語講座	観光客の増加で日常的に耳にするようになった中国語に、慣れ親しむ	25人		外国語を対象としたところ。
		男の料理教室	気軽に料理に挑戦することで、自炊のできる男性を増やす	15人	材料代	男と限定したところ。
2	本部町谷茶辺名地行政区事務所、谷茶公民館	眞薫結の会 かぎやで風サークル	当初生涯教育の一貫として、男かぎやで風サークル（男10名）で八足眞薫結の会仲程めぐみ師匠の指導のもと、週1回練習にはげんでいます。皆、初めての舞でしたが今では僕たちでも踊れるようになり、町内イベント等にも出演依頼があるときは参加しています。近年は女性会員も加入を認め、現在17名会員にサークル活動を楽しく過ごしています。高齢者のため50歳代、60歳代の入会を希望しています。	17人	3,000円	これまで男性かぎやで風サークルで発足をし、今は女性の方も入会募っています。
		谷茶健康教室せんだんの会	私ども谷茶区では、ミニデイサービス、健康教室せんだんの会の名称で高齢者に声がけを行い、希望者を募り月2回第2月曜と第4月曜に当公民館に集い新城百合子体育指導員による顔の体操や合唱、ゲーム、ゆんたく会等をする居場所作りを目指しております。近所の介護施設より看護師が訪れて血圧測定をし、健康チェックのボランティアの協力も頂いています。毎回ごとにお茶菓子代として100円徴収し、年3回程度バスツアー（3、4時間程度）としてランチの会食会やドライブへ出かけたりも行ってあります。現在女性だけの会となっておりますが、認知症予防のため、男性会員も募っております。	10人	100円	ひきこもりや孤独にならない為の抑止力。人と人とのつながりの大切さ。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
3	本部町立中央公民館	もとぶ半島カルスト講座	本部町山里から今帰仁村今泊にかけての地域は、国内でも例の少ない円錐カルスト地域として知られ沖縄海岸国定公園に指定されている。しかしながら、その貴重な自然景観については、町民においても漠然と語られることが多く、カルスト地域について理解し、町内外に正しく伝えられる人材は少ない。本講座は、本部半島カルスト地域の自然について正しく理解し、町民や来訪者に対するインタープリター（解説者）となる人材の育成を目的とする。	12人 延29人	100円 (保険代)	貴重な自然景観について正しく理解し、人材育成に繋げる機会を提供する。
		水墨画教室	サークル活動団体である水墨画サークルは、週一回の活動をとおして「もとぶ展」への出展等を活発的に実施しており生涯学習の一環として定着してきているところである。今回、教室を開催するにあたり、基本書道で学ぶ運筆や線質を水墨画で生かすことを目的とする。	10人 延53人	なし	既存で実施されているサークル団体の講師を当教室の講師として依頼し、芸術文化に触れる機会を拡大することで「もとぶ展」への出展意欲高揚を図る。
		パソコン講座	日本におけるパソコンの普及が9割を超えている状況であり、職場・家庭等ひいては実際生活に即する資材であることから、パソコン操作等の基本知識を習得し生活環境の向上を図ることを目的とする。	12人 延53人	なし	継続的に実施しているパソコン講座であるが、ニーズが高く一般家庭でパソコンに触れる機会が少ない町民が多数存在する。
4	本部町立東地区公民館	ソーメン流し	夏休み小学生を中心に児童生徒が公民館駐車場に集まり、ラジオ体操をする。その最後に”がんばりました。”という意味で、大人の方にも手伝ってもらい、ソーメン流しをし、みんなでおいしくいただく。	50人	0円	子どもたちの頑張りを労うため、交流しながらみんなで流しソーメンをし、又、来年も頑張るってこの会に参加しようと思う気持ちが育つ事業だと思う。
		教育委員会主催の夏休み勉強会	本部町の生徒の学力を上げる為の勉強会。各公民館で月～金曜日、2時間、希望する生徒のみの参加。	40人	0円	町が丸一丸となって、子どもたちの学力向上にとりくんだ事業だと思うので。
5	東村中央公民館	英語の絵本読み聞かせ	村内小学生の英語への関心を高めるとともに、本を読む楽しさを知ってもらう。	20人	無料	1ページごとに英語の絵本を読んだ後、同じ内容の日本語の絵本を読むことで、英語に興味がない子でも抵抗なく、楽しく聞くことができる。
6	東村川田地区公民館	海神祭	農作物に感謝し毎年の豊穰を請い願う、収穫の感謝と豊年、並びに航海安全と豊漁の祈願の行事。	150人 ほど	無料	
		学事奨励会・アプシバレー	人材育成を図る目的で幼児、児童生徒に軽スポーツをさせた後、PTA会員、部落役員並びに総務委員の運営で学事奨励会を行っている。 畦の草を刈り取り、田畑の害虫や作物を海に流し遠くへ追い払う行事。近年は、自弁当で各班別に別れて集まり、酒を飲み交わし懇談や余興で懇親を深める。	150人 ほど	無料	

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
7	東村平良地区公民館	ほがらか会	高齢者の集いの場で体をうごかしたり、歌を歌ったり、モノづくり等をして老化を防止、健康にすごしてもらう。	20人	なし	
8	恩納村安富祖公民館	学習塾	地域の子どもの学力向上を推進する目的で教師OB及び学生との協力により毎週月曜日午後6時00分から7時30分実施しています。平均12名ほどの出席です。		0円	恩納村において夏休みの学習塾の取り組みはあるが、毎週取り組んでいるのは当区だけだと思う。また、年2回程度地域のお米で自分たちで作るオニギリ食事会もあります。
9	金武町立中央公民館	公民館公演事業（4回）	中央公民館大ホールで公演事業を実施し、町民に対してさまざまな感性や意識の向上を図るとともに、施設の運営・活用方法についても意識改革を行う。	1,200人	無料	事業主体が中央公民館となっているので、地域のニーズにあった事業展開をし、補助事業とは違い制限がない中で事業が出来るため、地域性が出せる。
10	宜野座村立中央公民館	男も料理教室	串刺し料理の材料である野菜・肉・魚貝などの下ごしらえから、揚げるまでの一連の技術を学び、試食しながら、現代の食生活等について語る。	10人	1,000円	日頃、料理に不慣れな男性が集まり、グループで協力しながら、積極的に調理に取り組んでいる点。
		バッティング教室	小学生を対象に、野球のバッティングの基礎から学ぶ。施設の打撃練習場を利用し、バッティングの向上を図る。	16人	1,000円	体育施設の打撃練習場を生かし、講座につなげることができた点。
		キッズフラ教室	フラダンスの基礎を学び、児童が楽しくフラダンスに慣れ親しむことを目的とする。	23人	なし	大人のフラダンスがサークル化しており、違う世代にも広がっていきつつある中で、実現した点。
11	宜野座地区事務所	豊年祭	無形文化財にも指定されているもので、伝統芸能や文化の発信となっている。区民全員が参加する一大イベントである。区内外からの観客も多い。（隔年開催）	1,500人 (延べ)	0円	二才団ブリーから始まり、出演者達は2週間で演目を演じ、当日は素晴らしい演技をみせてくれる所、老若男女全ての区民がかかわってくるから。
		豊水祭	豊年祭のない年に行う行事である。各団体力を合わせてやる。区の内外問わず参加できる。	500人余	0円	各団体のアイデアで食べ物を提供。（金券の半券でくじびきがあり豪華賞品が当たる）
		綱引き	わらから縄を編み、大綱を作り、区民は前組（メーグミ）、後組（クシグミ）に分かれて引き合う。区外の人の参加もOK。大綱が作れる過程もよく分かる。綱引きの後は沖縄角力大会もある。	800人		綱をわらからどのようにして作るかを目の当たりに見れる。
12	沖縄市立中央公民館	自治公民館講座事業	地域の自治公民館において、地域の学習ニーズに対応した講座を地域の自治公民館が講座を主体的に企画・運営することで、地域のニーズに対応した講座が開催できる。（備考:37自治会が3回の講座をそれぞれ企画）	2,700人 (延べ)		通常、講座は公立公民館などが、企画・運営するが、本事業は講座の支援は公民館が行うが、企画や運営等は地域の自治公民館が行う。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
13	嘉手納町中央公民館	三板教室	手軽に琉球文化を学ぶ。	96人	0円	地域住民の関心の高さ。
		健康酵素ジュース スムージー作り教室	野菜、果物を使い、酵素を損なわず作るスムージーで、家族の健康管理。	95人	2,500円	住民の関心の高さ。
		スマートフォン活用術教室	スマートフォン、タブレットを使いこなすとともに、情報機器の危険性や可能性についても理解を深める。	17人		町支援のITCベンチャー企業を講師として招いた。
14	うるま市立公民館 (石川、与那城、勝連)	モデル自治公民館指定事業	うるま市立公民館は市内を3地区に分け、社会教育指導員（非常勤）を配置し、その指導員が地区の自治会へ赴き連携して自治公民館を活用した各種教室・講座を実施する。	27団体		社会教育指導員が講座教室の企画・実施の知識を地区の自治会へ伝え広めていくことで独自で講座等の企画・実施出来る団体や人材を育てる。
		マーラン船乗船体験	琉球王国時代からの交易の拠点として栄えていた平安座島において、帆で風を受けて走る木造船「マーラン船」が戦後初めて復元された。このマーラン船について学び実際に乗船することで先人達の知恵やその背景を知る。	18人	無料	2012年から進められているうるま市の「マーラン等復元活用事業」と連携し、うるま市でしか出来ないマーラン船の学習や乗船体験を行える。
		すーじぐわ巡り	うるま市の島々のロマンを求めて伊計島、宮城島、浜比嘉島、平安座島や各自治会内を巡りながら、その地の歴史、自然、文化などを学ぶ。	13人	無料	それぞれのすーじぐわを探索した。郷土の歴史を振り返り、伝統文化を知ることでふるさとの良さを自慢できる講座となった。
15	読谷村文化センター	赤犬子ども 三線・箏・太鼓クラブ	小学校1年生～中学校3年生までが対象。約1年間、沖縄の伝統芸能である三線・箏・太鼓を学び、地域文化の継承、発展を図る。文化センター開館後15年以上開催している事業であり、毎年100人以上の子供たちが受講している。「読谷まつり」「子ども芸能祭」「さんしんの日」など多くの成果発表の場があり、本センターを代表する事業である。	約130人	無料	100人以上が子どもたちが約1年間伝統芸能を学ぶという事業は県内でも珍しい事業だと思っており、読谷村の文化村作りにおいて大きな役割を果たしていると考えている。
		やちむんを通した取り組み	返還軍用地跡地利用として沖縄の伝統工芸やちむん（陶芸）の窯元を招致した「やちむんの里」内に、生涯学習施設として陶芸研修所がある。沖縄の伝統工芸やちむん作りを通して物づくりの楽しさや喜びを感じてもらうための体験教室を行っている。成果としては、受講生だった方が、サークルを作り、今ではそのサークルが講師となってやちむんの楽しさを教えている。	10～20人	2,000円	陶芸研修所という施設を活用し、小さな子供たち向けの教室や、本格的に作成したい人向けなど様々な体験を行うことができる。他市町村からの利用者も多数いる。
		サークル委託講座	文化センターで活動を行っているサークルに講師を委託し、講座を行ってもらう。サークルが積極的に受講者に関わることで日ごろ学んでいることを村民に還元し、お互いのスキルの向上や親睦を深めることを目的としている。講座終了後、受講生がそのままサークルに加入することも多い。	10～20人	500円～	講座の企画、運営をサークルが行うことでサークルの方のスキル向上につながる。そして受講者が受講後サークルに加入することでサークル活動も活性化するため効果の高い事業である。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
16	北谷町 宇地区公民館	田んぼ遊び体験	普段なかなか体験することのない田んぼへ入り、泥んこになって遊びを通し、田んぼがどういうものか親しみをもって理解を深める。	43 人	0	日頃は、泥んこの中に入ること自体、ダメだよとか怒られたりするようなことを、さあ楽しもうと提供する。
17	北谷町 栄口区公民館	子ども料理教室	子どもたちが、自分で作って食べるという食への自立。	20 人	100	自分で作れると嬉しい。楽しい。という食への興味と感性が自立に繋がる。
18	北谷町 宮城区公民館	カラーコーディネイト	日頃、服や装飾品など自分に合っているつもりで身につけたり、髪型や化粧もしていますが自分の目や肌の色などを知ることで自分に合う色や髪型などが分かる。	26 人	500	テレビなどでカラーコーディネイトの番組等ありますが、直に先生の講義を受けることで疑問などに思っていることも聞ける。
19	北谷町 桑江区公民館	歴史講座	沖縄の歴史を学ぶ。座学・史跡巡りをする中で、沖縄がどのような返還を巡って今があるのかを知る。	30 人	入館料のみ発生	単にいわゆる歴史ものだけではなく、考古学的見地からみた琉球列島を学ぶことができる。
		トレッキング or ウォーキング講座	「歩く」ことの基礎を学び、健康体力の維持を図る。	30 人	昼食代のみ負担	人間の基礎的な動作「歩く」に絞り、身体に負担をかけない歩き方が学べる。それを基に場所を広げ、公園・山里の景色、人との触れ合いを楽しむことができる。
20	北谷町 上勢区公民館	ふれあい市場	高齢者の作った農作物を販売する。元気な高齢者を応援し、やる気を高め、生きがい作りにつなげる。多くの区民が、買い物に楽しみながら、区民交流の広場でゆんたくを楽しんでもらう。高齢者福祉に関わる人達の交流の場にするために、できるだけ多くの人をスタッフとして参加してもらおう。(自治会主催)	120 人	0	
21	北谷町 美浜区公民館	区民交流サロン みはまちゃん	すべての町民がそれぞれの立場で地域社会に貢献し、地域に支えられ、生きていくことに喜びを感じる北谷町を目指した「第7次北谷町高齢者保健福祉計画」の一環として美浜区ちゅらあいらんどプランを立ち上げ、子どももシニアも男性も女性もみんなで作ろう地域の和・輪を合言葉に月1回地域の人々が集まって昼食を取りながら区民間の交流促進を図っている。(自治会主催)	90 人	200	
22	北中城村立中央公民館	夏休み！ 小学生かけっこ教室	楽しく体を動かすことを目的とし、体力アップやスポーツを好きになるきっかけづくりを応援する。	33 人	無料	正しいフォームで、かけっこが上達したい小学生を対象にしており、館内での開催が多い公民館事業の中で野外で行うため。
		大人のための おすすめ絵本の会	日頃、読み聞かせ活動を行っている各サークルの皆さんを講師に、大人になってから読む絵本の奥深さや絵本に込められた作家の思いを楽しみ、子育て世代の絵本選びをサポートする。	24 人	無料	大人になってから読む絵本の奥深さや絵本に込められた作家の思いを楽しみ、子育て世代の絵本選びをサポートする。
		初めてのフラダンス講座	フラを踊ることにより、心身ともに若々しく、素敵に年を重ねるためのきっかけづくりをします。	30 人	無料	フラダンスは心身ともに若々しく、素敵に年を重ねるためのきっかけづくりとなり、最高齢83歳の方もフラを楽しんでいます。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
23	西原町中央公民館	平和事業 (西原町平和月間) 戦争写真・パネル・遺品展 と平和月間講座	西原町では、6月は平和月間と位置づけし役場、図書館、公民館がそれぞれの立場で恒久平和のための取り組みをおこなっている。西原町(村)は、沖縄戦において激戦地であり、戦没率46.9%という数値は県内1位であること、いまだ町内から遺骨、遺品が出土している現状を伝え、戦争の悲惨さから平和への道を考える。	来館者数 1,340人 (延べ) 受講者 154人 (延べ)	①入場無料 ②講座受講料無料	戦争の概要、壕跡、戦争体験談などをおして、西原村(町)の戦争の実態を学ぶことができる。
		しまくとぅば継承・推進事業 第1部子どもしまくとぅば講座・うちなー芝居講座成果発表会 第2部劇団花道「あむとぅぬしちや〜輝け老人パワー〜」	現在、日々の生活の中で「しまくとぅば・うちなーぐち」を聞いたり話したりすることが少なくなっている。そこで「しまくとぅば」で挨拶を交わし、日常会話ができるように独自の文化である「しまくとぅば」を継承・推進する必要がある。しまくとぅばの大切さを意識付け、復興にむけた取り組みに寄与することを目的とする。	入場者数 386人	無料	西原ことば(西原むにー)を交え、歌遊び、手遊びなどからしまくとぅばを学ぶ。また、うちなー芝居を鑑賞するだけでなく、演技にチャレンジしながらしまくとぅばを学び、成果発表会で披露することで、しまくとぅばの楽しみながら学べる。
		山原の自然と文化講座	沖縄が誇る山原の自然の現状と課題について、座学と巡検を行うことで、次世代にもこの豊かな自然を残す、守ることの大切さを学ぶ。	123人 (延べ)	受講料： 無料 ※山原巡検の際： 昼食費のみ実費	山原の自然や文化を座学で学び、実際に山原の奥間川周辺の散策をして実体験をおしてより深く山原の自然について学べる。
24	宜野湾市立中央公民館	みつばち観察教室	みつばちの生態やみつが出来るまでの不思議を学ぼう！をテーマに小学生親子を対象に開催。みつばちの生態についての座学と巣箱やはちみつを採取するために使う道具(遠心分離機)を使って採取し試食を体験し、ガラス越しにはありますが女王蜂をみることもできました。	50人	0円	みつばちの生態については日常生活において貴重な体験であり、できたてのはちみつを採取して食すること。はちみつが出来るとの作り手の苦労やキャリア(仕事)について学ぶ。参加の応募も15組(親子)に82組あり、関心度の高さが伺えた事業でありました。
		ネイチャーゲームで自然体験	「ゲームしながら楽しく自然について学ぼう！自由研究や工作の宿題も役立つよ！」をテーマに環境問題への気づきのきっかけをつくり、見方を変えて自然体験を学んでもらいました。	40人	0円	ゲーム感覚で体験しながら気づきを覚える。勉強とは違う体験で自然体験を学ぶ。
25	浦添市立中央公民館	大人のための食育講座～食べ物と環境を考える～	日頃の食生活から地域の食べ物や環境に関心を持つ。 ①沖縄の地産地消を考える ②フードマイレージを知る ③浦添の桑の実でジャム作り ④浦添のアーサでそば作り ⑤カーミーザーでアーサ採り。	20人	800円	世界の食料の状況や環境、労働の状況等を踏まえつつ、地産地消について学び、地域の資源を生かした全5回の連続講座で、参加者へ援農の試み、6次産業や女性起業等、様々な学びを提供することができた。また、地域の新しい産業のPRにもなり、雇用促進や地域支援につながっていく可能性のある講座であると考えたため。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
25	浦添市立中央公民館	夏休みお仕事体験講座	店長になったつもりで売り方を学び、作ったお菓子を分館子どもフェスタで販売する。①流行っているお店、流行っていないお店について、意見を出し合う。(グループワーク) ②グループで店名を決めてポスター作り。売上金はどうするか考える。③クッキー、カップケーキの製作とラッピング。④子どもフェスタにて対面販売。⑤売上金の分配について決める。	15人	600円	自分たちで、流行るお店を立ち上げることから始まり、実際に販売するお菓子の製作、そして実際に販売、収益をどう活用するかを子どもたち自身が考え、体験し、参加した子どもたちがよのなかの商売の流れを疑似体験することができた。(全5回の連続講座) 企業は社会へ還元することも必要であることも、学び、いろいろ悩みながらも売上金を社会福祉協議会へ寄付を行うことで意見がまとまり、子どもたちの成長につながったと考えるため。
		自治公民館講座	地域住民が身近でもっとも利用しやすい自治公民館で、地域の課題や住民の学習要求に応じた講座を開設し、地域住民の学習意欲を高め、自治意識を育てるとともに、市民力・地域力を培うことを目的とする。※各自治公民館で、4～5回程度、様々な講座をおこなっており、講師多数のため未記入。 ※2月に実施する可能性があるため、参加者数は12月10日現在の人数であり、未確定。 ※講座によって、材料費を徴収している講座あり。	873人		それぞれの地域の課題や住民のニーズに合わせた講座を、地域の方が運営委員となって運営を行って講座を進めている。市民力・地域力を高め、地域の活性化につなげることができると考えるため。
26	那覇市中央公民館	成人講座 「琉球の歴史と民族」	「琉球は、かつて武器のない平和な島だった」という。戦後70周年を迎え、近世・現代における沖縄の歴史について、学習する機会とする。	300人	0円	ふつうの通俗的な文化講演ではなく、大学や行政専門機関の研究者が、「古文書」や「文献史料」をもとに受講者向けに具体的に解説し、内容を読み解きながら進める。市民を対象に本格的な内容の講座となった。
		親子ふれあい教室 『自然体験！国際通りで川めぐり』	「よい子はここで遊ばない」の看板が都市の無表情な水辺を形作っている。今回、身近な川の大きな自然を活かすとともに地域密着型の環境学習を通して親子のコミュニケーションを深める機会とする。	29人	0円	講師に専門家ばかりではなく、地域の人材を招き、地域の河川情報を提供できた点がユニークである。
		読み聞かせ養成講座	子どもたちが絵本の魅力を知り、豊かな感性が育つように、絵本の読み聞かせについて基礎から学び、家庭での読書環境づくりや学校・地域での読み聞かせ活動への参加を促すことを目的に開催します。	131人	0円	中央公民館では初心者向けの講座を開催しているが、修了者には次なるステップとして中央図書館主催の中級編読み聞かせ講座を受講できるよう、公民館・図書館・子どもの本研究会が連携して講座を開催していること。
27	那覇市小緑南公民館	小緑地区市民大運動会	21世紀を担う健やかな青少年を育てることを目的に、小緑地区に関わる期間・団体が協力し、豊かで明るく住みよい地域づくりをめざして、“うるく地域づくり連絡協議会”が平成8年に結成されました。以来、これまで消滅状態にあった各自治会対抗の小緑地区市民大運動会の復活をさせ、今年度で20回目の節目を迎えました。小緑南公民館もその事務局を担っており、またその地域の文化継承や教育力の向上と活性化を目指す事は公民館の大きな役割であります。当該運動会は、沖縄の健康・長寿復活が大きなテーマの中運動会に参加することで、住民の健康意識の高揚や地域の健康づくりへ推進等、生活課題の解決に向け取り組んでいる事業です。	5,000人	0円	地域をより良いものにしていこうとする活動はすべて公民館活動であり、まちづくり協議会の活動はすべて公民館活動である。主役は地域住民、当公民館は支援の立場で運動会の主催する「うるく地域づくり連絡協議会」をサポートを行っているため。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
28	那覇市首里公民館	学社連携事業	学校現場では、「生きる力」の育成を目指して、教科の枠を超えた学習ができる「総合的な学習」に力を入れている。城西小学校3年生の「総合的な学習の時間」として、また、首里公民館の学社連携（融合）事業として、公民館でサークル活動をしている講師、会員に指導を依頼及び場所の提供を行い、その成果を公民館まつりで発表する。	140人	0円	市内の他の公民館では同様な講座が実施されておらず、さらに今年度で15回目になるため。
		守礼大学 首里の石碑めぐり	首里には首里城がある所以で、地域に史跡や旧跡などが多く存在している。そして、それらを講座に取り込むことによって、琉球史や琉球文化を広く市民に知ってもらう。さらに、地域から講師を発掘し、生の声を講座に反映させる狙いがある。	120人	500円	毎回、座学後、首里地域を散策しながら学習効果を高められるのは、首里に公民館があるため利便性が高く、さらに首里地域を研究なさっている方々がおり、講師への登用が可能である。
		農作業体験講座 親子で畑人 さつまいもを育てよう！	都市化の進んだ那覇市に住む児童は、簡単に土に触れる環境があまりない。また、農作物を植えて収穫し、最後は調理して自分で食べるという経験をする子は、更に少なくなってしまう。そこで、保護者と一緒になって貴重な体験を味わうのが、この講座の主旨である。	26人	2,000円	市内の公民館で10組の親子が、唐芋を栽培できる規模の畑を有しているのは、当館だけであり、さらに講師は地域の方々である。地域と公民館の機能を有効に活用している講座だと思う。
29	那覇市若狭公民館	朝食会	毎月一回、おかず一品持ち寄り「朝食会」を実施している。「朝食会」は、青年層を対象とした公民館の新たな活用方法について考えるワークショップで提案され、以降毎月一回開催され、2016年1月に100回目を迎えた。「頑張らない」をモットーに、食を囲みながら世代や属性を超えて誰でも参加できるゆるやかな交流の場をつくっている。様々な出会いからイベント企画などにもつながっており「100人でだるまさんがころんだ」などのユニークな事業も生まれている。最近では、家族での参加者も増え、子育て情報の場にもなっている。	1～80人	100円	特定のテーマを設けず、また「頑張らない」というコンセプトが従来の公民館事業のスタイルとは異なっている点。また、そのゆるさが新たなコミュニティづくりにもつながっており、参加者が主体的に運営することで魅力ある場となっている。
		ナイトウォーク	ナイトウォークは、那覇中学校、上山中学校生徒を対象に、本島南部32kmのコースを一晩かけて歩く事業で、毎年3月に実施している。この事業は、非日常的な体験の中でお互いを励まし合い、助け合いながら、ゴールを目指すことにより、連帯感、達成感、充実感を共有し、困難に立ち向かい気力を培う機会を設け、青少年の健全育成を図ることを目的としている。もともとは、戦後50周年を機に、戦争の追体験を目的として始まったもので、当初は、国道58号線を北上するコースだったが、その後コース変更や小学生も参加できるデイウォークなどを経て、9年ほど前から現在のナイトウォークになった。	50～60人	1,000円	以前は、様々な地域や機関でナイトウォークを実施していたようだが、20回以上も継続しているところは少ない。対象は、公民館エリアにある二つの中学校生徒だが、運営には地域の方々や関係職員、ウォーキング協会や医療法人など、多くのボランティアスタッフが関わっている。ボランティアスタッフの中には、中学生の頃に参加した経験がある人もいる。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
29	那覇市若狭公民館	わかさ妖怪さんぽ	沖縄に伝わる「マジムン」に関するレクチャーと若狭公民館近隣地域にある「マジムン」伝承ゆかりの地を散歩形式で廻る講座。地域の伝承を学び、自分たちの住む場所について愛着を持ってもらうことを目的としている。親子対象に、創作紙芝居や「マジムン」をイメージしたイラスト作成などを取り入れて実施したほか、対象を成人に限定した夜の講座なども実施した。伝承の背景にある地域の歴史や文化の掘り起こしを行い、将来的には、それを地域づくりに繋げていきたい。	15～30人	100円 (保険料)	「マジムン(妖怪)」を切り口に地域の歴史や文化の掘り起こしを行っているところ。また、講話だけではなく、まち歩き、紙芝居、イラスト講座など、多様な手法を用いているところ。
30	那覇市繁多川公民館	あたいぐわープロジェクト	沖縄在来種の青ヒゲ・高アンダーを地域の人々が栽培・普及し「昔の繁多川豆腐」を再現する中で住民間のコミュニケーションの場・機会を広げ地域のさらなる活性化・まちづくりの一助とする。	約1,800人	0円	地域文化を活かし、住民が先生となり子ども達が誇りを持つ取組として高まっている所がユニーク。また年間1,800名ほどの生徒や地域住民が参加し持続的にいける仕組みができています。
		キバナノヒメユリ里親プロジェクト	「キバナノヒメユリ」という身近な自然を活かしながら自然観察や実習を通して自然保全に努め、コミュニケーション・連携の活発化から住民参画や市民性教育を推進する。その中で持続可能な経済活動を考える材料とし、地域の誇れる花として活性化につなげる。	186人	0円	野生では近い将来絶滅するといわれる絶滅危惧種1A類の植物を地域住民で里親として守り育てながら、自生地保全の取り組みがユニーク。学校の環境居育やバイオ培養研究所、遺伝子研究、行政など多様な関りで持続可能な地域社会を目指している。
		進学支援サポート下宿事業	沖縄県は東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域に点在する160の島々からなり有人の離島39島のうち35島で高校がない。進学のため遠く離れた那覇市や最寄りの高校へは高い渡航費や教育費(平均81,000円/月)や身近に頼れる大人の不在が課題となっている。離島・遠隔地出身の学生に高齢者宅の空き部屋を提供することで、学生の金銭的負担軽減と高齢者の生活支援を両立させる。各世代の強みを活かし相互支援を実現し、都市と離島等が持続的な地域ビジネス(雇用・担い手)を生み出す地域を創出する。プロジェクトエリアの沖縄県那覇市繁多川も高齢化率が29.1%であり、自治会加入率は20%。孤立化した高齢者の増加が深刻だ。主な仕事内容は、那覇と離島を含む遠隔地の資源を相互に補い合う交流を創出し、若者と高齢者の相互支援のマッチングをコーディネートする。	6人	2,000円	独居高齢者支援と高校や大学の進学支援という課題を掛け合わせ、地域の魅力へと変換した。現代にあった地域で支え支えられるしゅみを構築する。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
31	那覇市牧志駅前 ほしぞら公民館	星空案内人養成講座	学校や公民館等での星空観望会で星空を案内したり、友人や家族など身近な人と星空を楽しむ人材を育成するため。	90人	150円	県内でこの講座を開催しているのは当館のみで、類似の事業も石垣市に1件あるだけである。
		宇宙の学校	JAXA、KU-MA（子ども・未来・宇宙の会）と共催で、小学校低学年の親子を対象に、親子で科学実験や工作に取り組むことで、ものづくり、科学する心を育成するとともに、親子のつながりを強化する。公民館はスクーリングととらえ、工作や実験の大部分は家庭で親子でおこなうのがこの事業の特徴である。	150人	2,000円	JAXA、KU-MAの作成した優れた教材を使用し、そのほとんどを家庭でおこなうようになっている。公民館では家庭でできない大規模な実験をする場。家庭学習テキストは30種類以上あり、親が手伝わない部分を設定してある。工作教室はこれまでも多数あるが、教材の質の高さと家庭学習を中心にしたこと、親子のふれあいを重視したところがユニークだと考える。
		親子星空教室	久茂地公民館時代から40年近く続いている講座。小学校高学年の親子向けに、宇宙や星空についての学習をおこなう。思春期入口の時期に親子で一緒に学習する時間を作ることで、単に宇宙のことを学ぶだけでなく、より良い親子関係を構築する一助とする。	50人	0円	県内の他公民館、博物館では当館のような連続講座は開催されていない。
32	南城市中央公民館	うちなーぐち教室	うちなーぐち普及を目的に比嘉光龍を講師に一般的なうちなーぐちに始まり、発音や敬語、地域での言葉の違い等、とても幅広い内容で実施。毎水の6月3日～7月1日まで計5回実施	40人	0円	他県にはない取組。
		かぎやで風教室	一般講座の文化的事業ということで、沖縄文化芸能でかかせないかぎやで風を普及目的に実施。11月24日、12月1日、12月8日 計3回	48人	0円	沖縄の文化・芸能に触れる機会の提供。
		久高島史跡めぐり	神の島といわれる久高島は、琉球発祥の地として最も神聖な島を歩き、文化財に触れて学習することで地域文化の理解を深める。	25人	1,370円 (フェリー代)	沖縄で最も神聖な島を歩き、文化財学習を実施。
33	与那原町コミュニティー センター	夏休み朝活応援隊	児童、生徒の夏休みの宿題を応援するために、朝8:30～昼12:00まで町コミュニティーセンターの自習スペースのクーラーをつけ、学習しやすい環境を提供し、夏休みに崩れがちな生活リズムを整えることを目的としている。	404人	0円	事前申し込みなどはせず、参加するしないは各自に任せている点。
		たのしい科学&実験講座	座学メインではなく、体験を中心とした内容で、五感を使って考え、楽しみ、科学に興味を持ってもらうことを目的としている。	80人	各150円	体験重視の内容となっている。ドライアイスを使ってのアイスクリーム作りや、目に見えない空気の粒を専用の道具を使ってわかりやすく子ども達に教えている点。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
33	与那原町コミュニティーセンター	避難訓練	災害時に適切で迅速な対応ができるように、職員だけでなく利用団体会員にも参加をしてもらい、防火・防災意識の向上を図ることを目的としている。	20人	0円	これまで職員のみで行ってきた訓練を、利用団体会員を巻き込んで行うことで、より本格的な訓練が行える点。
34	南風原町立中央公民館	南風原ふるさと発見ウォーク	史跡等をめぐり、まちの良さを発見し、まちへの愛着心を育み、地域住民が参加することで地域の絆づくり、まちを歩くことで健康づくりを目的に開催。	129人	無料	社会教育団体等が協力連携し、開催され、参加者に喜ばれたため。(社会教育委員会、女性会、青年会)
35	南風原町津嘉山区自治会	綱引き	「御願綱」又は「アミシの御願」として昔は五穀豊穡を祈り、悪疫払いなどをしたが、今は区民の交通安全、繁栄を祈る行事になてきており、東西に分かれて綱を引きます。	700人	0円	約650年前から続く伝統文化であり、区民が1番多く参加する。
		区民運動会	区民が一堂に集まり協議や演技に参加することによって区民の団結と親睦が深まる。	500人	0円	スポーツ、ゲームや踊り、参加者も園児、小学生、青年会、女性の会、婦人会と参加者も多い。
		夏まつり	青年会、女性の会が中心となり、3世代園児から老人までが参加し、踊りや出店で盛り上がる。	400人		家族連れが多く参加し3世代交流になる。
36	八重瀬町中央公民館	八重瀬町中央公民館講座「文学碑めぐり講座」	県内にある琉歌碑等を訪ね、沖縄独特の情緒的な短詩形式である琉歌(8,8,8,8,6音形式)を学習するとともに、郷土の文学や文化に対する理解を深め、町民の文化教養の向上と郷土特有の文化に誇りを持ってもらうことを目的とする。	40人	3,600円	合併以前から続いている講座です。平成2年から始まっています。県内を南部、中部、北部コースに分けて、各コースをまわっています。
37	糸満市生涯学習支援センター	リズム健康体操	聴き慣れた曲に合わせて無理なく、楽しく体を動かせるので日頃運動をししない方でも喜んでできるのではないかと講座を行いました。	15人	0円	参加者が65歳以上で昭和の歌に合わせて楽しく無理なく体操しているところ。
		南山王国の歴史散歩	地域に南山時代の歴史を研究している方がいて、講座を開いてほしいと地域の人の要望があり開設した。関心は年々深まり受講者も増えてきている。	28人	0円	講座を3回行っているが毎年参加者が増えている。
		琉球料理と御願	琉球料理の基本的な作り方を知らせようと琉球料理研究家の渡口初美氏を講師にすると受講生者がたくさん集まると思い招へいた。また、料理を煮ている間の時間を利用して御願の由来と屋敷の御願等自分のできる御願のやり方についても講話してもらいました。大好評で来年もやりたい意見が多かった。	15人	1,000円	琉球料理と御願の組合せは、なかなかないと思う。また、料理や御願の由来についても知っていることで、郷土への関心も高まっていると思う。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
38	粟国村中央公民館	染色教室	村木であるフクギを利用した染色を館長の本業が染色家であることから自動を中心に行った。	20人	0円	粟国村の村木であるフクギやふだん食べている玉ねぎなどの利用方法を紹介した点。
		フクギと中国風水	村木でありながら身近にありすぎてあまり考えることのないフクギについて深く勉強する。	20人	0円	フクギのもつ役割や利活用について学べたこと。
		男の料理教室	島に居ても入手できる食材を使い、一人暮らしの男性にも簡単に作れる料理を学ぶ。包丁や調理器具の使い方に慣れてもらう。	延べ100人	1回500円	男の料理教室でありながら女性の参加も可能。料理をしながらか交流の場でもある。
39	伊江村中央公民館	バキ作り教室	村内にある廃品（プラスチックバンド）を使い昔ながらの手法での籠作り。	28人	無料	昔は竹を使い編まれていた籠を、地域にある廃棄する材料を使い竹の代わりとすることにより、リサイクルし、僅かではあるが廃棄物を減少できる。
40	伊是名村産業支援センター	生涯学習発表会	人材こそ「村おこし」の原点）資源の乏しい、本村にとっては正に「人材を持って資源となす」を村民が等しく認識しています。地域住民や子どもたちが日頃より取り組んでいる自発的な意思による学習等を発表する機会を設け、今後の生涯学習・地域の教育力等の向上を図ると共に支援につとめる。 ※生涯学習発表会は、保育園・幼小中・各子ども会・老人会・村民等が集い、日頃より取り組んでいる学習・創作や習い事など1年間学習したことを発表する場となっております。	250人	無し	村民全てが対象で創作品の展示紹介やパネルによる紹介などがあり、特殊な物はシャコ貝の養殖・もずく養殖方法の紹介など多彩でユニークだと思います。
41	伊平屋村離島振興総合センター	ファミリー読書（読み聞かせ）	毎月第3日曜日に、子ども会育成会による読み聞かせをおこない、読書活動のきっかけを作る。	167人	0円	保護者による読み聞かせ活動を地域で行う。
		伝統文化学習講座	地域の人材を活用し、伝統的な舞踊や三線、料理などの講座を毎月第3水曜日に開催	167人	0円	失われつつある伝統的な技術を地域の大人から子どもへ継承する機会となる。
		てるしの塾	塾のない本村の中学3年生を対象に、学習塾と提携して受験対策等の学習支援を行う。	22人	1,000円	昨年度までは島内の人材を活用していたが、受験という大きな節目に万全の体制で臨むべく初めて外部から専門講師を招聘して行う。
42	宮古島市下崎地区公民館	筋トレ（ストレッチ）講座	ストレッチ運動で体をリフレッシュし、日々の生活を楽しく過ごす。	37人	0円	健康ブームなのか、すぐに募集定員（20名が37名）達し、他の地域からの参加も多く講師の人気を実感。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
43	宮古島市下地公民館	タケアラ学校講座	健康で心豊かな生きがいのある人生を送るため、時代に合った新しい知識を身に付けると共に趣味や仲間づくりを通して、楽しい学習を行う。	30 人	0 円	月 1 回（年 8 回）の講座で、60 歳以上の方が対象。1 年の計画を皆で話し合いで決める。地元（下地）、あるいは宮古島に住みながら普段足を運ばない施設の見学や、伝統芸術の工程作業を学ぶ事で改めて島の文化の良さを理解することが出来る。
44	宮古島市久松地区公民館	琉球舞踊講座	琉球舞踊の基本を学び、芸を身に付けると共に心身を豊かにする。	20 人	0 円	当初、集落の婦人たちが 20:00 から始まる講座に集まのか心配していたが、すぐに定員に達し、参加延べ人数も 200 人を超えた。あらためて、宮古の女性の踊り、音楽好きな事やライフスタイル変化を感じられたから。郷土芸能根強い人気実感。
45	宮古島市城辺公民館	平成 27 年度新潟県上越市板倉区宮古島市城辺地区児童交流事業	1893 年宮古島の人頭税廃止に尽力した中村十作しを縁として、夏冬相互のホームステイ交流を通じて両地域を結ぶ歴史を学び、風俗や文化の違いなどを体験する心を持った児童を育てるとともに、両地域の一層の親善を深める。	4 人	0 円	
		平成 27 年度「旬の食材で楽しくクッキング講座」	親子で楽しく伝承料理を学び、地元を愛する心を育む。	10 人	1,000 円	
		平成 27 年度「月桃・あだんで物作り講座」	月桃・アダン葉を使って、物づくり。昔ながらの民具を作り、楽しさを知る。	10 人	1,500 円以上	
46	宮古島市西原地区公民館	初心者への為の優しい三線講座	始め位の三線にチャレンジする方に三線のノウハウを解かりやすく教え、優しい曲にも挑戦します。	20 人	0 円	受講生が 10 代から 60 代と年齢幅が広く、西原地区以外からの参加もある。また、受講後すぐにサークルを起ち上げ活動している。サークルは、11 月の市の生涯学習フェスティバルにもサークルで参加。親子での参加もあった。
47	宮古島市中央公民館	花づくり講座	挿し木から始めるブーゲンビレア、土作りや施肥、育て方を学び生活の潤いに役立て、クロトンの種類や楽しみ方について学ぶ。	30 人	0 円	月 1 の講座だが、植物の生育を 7 か月の長期にわたり観察できることで、新たな発見が生まれる可能性があり、期間内においては講師の助言、指導も仰ぐことができる。
		大工講座「D I Y にチャレンジ」	土地利用図を見ながら土地や建物に関する法律も学び、ブロックやモルタル等を使って階段を造る実技も体験する。	20 人	0 円	大工からの指導だけではなく、1 級建築士から建築法なども法規も学べる。また、公民館敷地内で戸棚の修繕や階段作りの実技も行うことによって、公民館に対しての愛着も生まれる可能性がある。
		紅型講座	沖縄古来の紅型の基礎知識を学び、自分の好きな作品を作る。	20 人	0 円	宮古上布という同じ工芸品（無形文化財）がある宮古において、一般市民が他の工芸品の制作に触れる機会が少ないので、良い比較の場になったと思います。

	公民館名	事業名	主 旨	参加者数	参加費	なぜこの事業が「ユニーク」だと思いますか？
48	多良間村 コミュニティー施設	コミュニティーまつり	明るい村づくり、人づくりをめざすコミュニティー施設の役割について地域住民の理解と関心を深め、生涯学習活動への意欲を促し、教育文化活動を推進し、生涯学習施設としての今後一層の活性化を図る。	134人	0円	水納フツ・多良間フツ・宮古島方言を交えた教訓話は、歌あり、踊りあり笑いあり等で子どもからオジー、オーバーまで参加者全員が楽しいひと時が過ごせたから。
49	与那国町 自治公民館連絡協議会	伝統祭事	年間40以上の祭事行事を執り行う。			
			祭事のみを執り行う。			
			祭事のみを執り行う。			